

「秦野市健康増進計画（第5期）（案）」に対するパブリック・コメントの実施結果について

1 意見募集期間

令和6年2月17日（土）から同年3月17日（日）まで

2 意見募集の周知方法

広報はだの2月15日号及び市ホームページ

3 計画（案）の公表方法

- (1) 市ホームページへの掲載
- (2) 公民館、図書館及び駅連絡所における閲覧
- (3) 本庁舎行政情報閲覧コーナーにおける閲覧
- (4) 健康づくり課における閲覧

4 意見提出の方法

郵送、ファクス、電子メール、電子申請及び持参の方法による

5 提出された意見の内容及びその取扱い等

内容分類	件数	意見への対応区分				
		A	B	C	D	E
1. 計画の策定に当たって	5	1	1	2		1
2. 秦野市の健康に関する現状	1			1		
3. 前計画の評価	2	1				1
4. 目指す方向性	4	1		3		
5. 計画の展開	5			5		
その他	3	1	1		1	
計	20	4	2	11	1	2

※ 意見への対応区分

- A：意見等の趣旨等を計画に反映したもの
- B：意見等の趣旨等はすでに計画に反映されていると考えるもの
- C：今後の取組みにおいて参考とさせていただくもの
- D：計画に反映できないもの
- E：その他

「秦野市健康増進計画（第5期）案」に寄せられた市民からの御意見・提案等一覧

〈対応区分〉

A…意見等の趣旨等を方針案に反映したもの

B…意見等の趣旨等は既に方針案に反映されていると考えるもの

C…今後の取組みにおいて参考とさせていただくもの

D…方針案に反映できないもの

E…その他（感想、質問等）

No.	該当箇所	該当ページ	御意見・御提案等の概要	区分	御意見等に対する考え方
1	第1章 計画の策定に当たって	2	ライフコースやロコモティブシンドロームについて、語句の説明が必要である。	A	御意見のとおり、構成を見直し、見開きのページ内に語句の説明を入れました。
2	第1章 計画の策定に当たって	-	第5期計画に新たに追加された視点は何か。	E	P.2「1計画策定の趣旨」にあるように、2つの新たな視点を追加しました。
3	第1章 計画の策定に当たって	2	第1期～第4期までの取り組んだ位置付けや目標(目的)が記載されているが、計画のPDCAの視点が見て、過去の計画についてはそれぞれの期数の成果(到達点)や達成できなかった課題などが明確化されていると、さらに分かりやすいと思うがどうか。	B	各期計画策定時において、前計画の評価(成果や課題)を行っているため、御意見のような明確化はされていませんが、内容に反映されているものと考えます。
4	第1章 計画の策定に当たって	3	「秦野市健康増進計画 健康はだの 21」と「他分野の個別計画との連携・協働を図ります。」とあるが、それぞれの計画は法令などに基づいて策定されると思うが、「秦野市国民健康保険特定健康診査等実施計画」や「秦野市国民健康保険データヘルス計画」など、他の行政計画も含めて、統合またはネットワーク化の可能性はどうか。	C	御意見にある「秦野市国民健康保険特定健康診査等実施計画」や「秦野市国民健康保険データヘルス計画」との統合は難しいですが、事業の進行管理では、他計画に基づく事業を関連事業として把握し、連携を図っています。今後、いただいた御意見にある視点を持ち策定に当たります。
5	第1章 計画の策定に当たって	3	将来的には秦野市国民健康保険第3期データヘルス計画及び第4期特定健康診査等実施計画との統合・一本化し、縦割り行政計画の弊害を検証し、また他の関連する行政計画との連携の課題を是正すべきと考えるがどうか。	C	御意見にある「秦野市国民健康保険特定健康診査等実施計画」や「秦野市国民健康保険データヘルス計画」との統合は難しいですが、事業の進行管理では、他計画に基づく事業を関連事業として把握し、連携を図っています。今後、いただいた御意見にある視点を持ち策定に当たります。
6	第2章 秦野市の健康に関する現状	18	「介護・介助が必要になった原因」のうち、骨折・転倒、関節の病気などの運動器の障害によるものが高い状況であれば、女性に対する取組がもっと必要ではないか。	C	「身体活動・運動」の取組で、重点健康相談事業(骨密度測定・健康相談会)を実施するほか、イベント等で広く啓発活動を実施します。

「秦野市健康増進計画（第5期）案」に寄せられた市民からの御意見・提案等一覧

〈対応区分〉

A…意見等の趣旨等を方針案に反映したもの

B…意見等の趣旨等は既に方針案に反映されていると考えるもの

C…今後の取組みにおいて参考とさせていただくもの

D…方針案に反映できないもの

E…その他（感想、質問等）

No.	該当箇所	該当ページ	御意見・御提案等の概要	区分	御意見等に対する考え方
7	第3章 前計画の評価	28	市内小中学校での健康づくり課が講師を務める喫煙防止教育回数増加について、達成率 13.6% の理由は何か。	E	市内小中学校(全22校)に案内をしていますが、喫煙防止教育の実施依頼は3校(6年間で、6校)であったため、継続して実施校数を増やせるよう取り組みます。
8	第3章 前計画の評価	29	それぞれに〈要望・課題〉の記載があるが、課題がどういうことなのか曖昧な表記が多い。例えば「1-1社会的なつながり」の〈要望・課題〉では「様々な場においてハイブリッド形式での実施を期待します。」「・協働事業では、実施可能な形式での継続実施を期待します。」とあるが、とあるが、何が課題なのか理解できない。	A	御意見を踏まえ、内容に合わせて〈要望と課題〉という題目を整理しました。
9	第4章 目指す方向性	39	地域活動参加の割合(65歳以上)基準年度(令和4年度).7%、目標値 68.0%は、もっと増やしたほうが良いように思う。	C	地域活動参加割合の増加を目指し、現行の目標値を指標とします。
10	第4章 目指す方向性	37	体系図の中で、取組分野「たばこ・お酒」の「市内小中学校での喫煙防止及び適正飲酒教育の実施」という表現を見直す必要がある。	A	御意見のとおり、表記を見直し、修正しました。
11	第4章 目指す方向性	35	ライフステージの区分けについて 6つのライフステージ別の行動目標を立てており、わかりやすい内容となっていますが、人生100年時代と提唱している中、高齢者の区分が65歳以上となっています。今後はライフステージの年齢区分の検討が必要と考えます。	C	御意見については、今後の取組において参考にさせていただきます。
12	第4章 目指す方向性	38	計画の推進にあたり、多様な主体との協働をうたっています。予防的観点からすると、身近(身内以外)に相談や意識変容を促す存在は大切と考えます。そのような存在として、全年代に対しては身近なかかりつけ医などが位置付けられると考えます。ただ30～40代では自身の健康について深く考えることやあまり相談する機会も少ないと感じます。唯一考える機会があるのが、任意保険加入時と感じます。そのような企業との協働的な取組みの見解をお伺いします。	C	御意見のとおり、全年代においてかかりつけ医を持つことを啓発してまいります。また、市内保険会社と健康増進に関する連携協定を締結し、任意保険加入時における健診・検診の受診勧奨の実施などを行っています。

「秦野市健康増進計画（第5期）案」に寄せられた市民からの御意見・提案等一覧

〈対応区分〉

A…意見等の趣旨等を方針案に反映したもの

B…意見等の趣旨等は既に方針案に反映されていると考えるもの

C…今後の取組みにおいて参考とさせていただくもの

D…方針案に反映できないもの

E…その他（感想、質問等）

No.	該当箇所	該当ページ	御意見・御提案等の概要	区分	御意見等に対する考え方
13	第5章 計画の展開	66	(5) 本市の取組(関連事業)で薬物に関する取組もほしい。依存に関する教育の実施であれば、薬物と明確に記載してほしい。	C	御意見を参考に、表記を改めました。薬物乱用防止事業については、神奈川県と協力しながら取り組みます。
14	第5章 計画の展開	64	たばこに加えて、お酒による健康への影響が大きい。	C	御意見のとおり、お酒による健康被害を減らすため、厚生労働省の「健康に配慮した飲酒に関するガイドライン」をもとに、飲酒の適正量等について啓発します。
15	第5章 計画の展開	-	生活の中にある楽しみを確保しながら、病気になるリスクの軽減が必要である。	C	御意見を参考に健康づくりに取り組んでまいります。
16	第5章 計画の展開	-	健康食品のコマーシャルなど影響されることがあるため、生活習慣改善に基づく健康づくりの周知を期待する。	C	御意見を参考に健康づくりに取り組んでまいります。
17	第5章 計画の展開	55	子どもたち(小中学生)にとって、学校給食は食生活の大きな比重を占めると考えます。学校給食には全く触れていませんが、意図があるのでしょうか？学校給食へ言及しての計画策定の見解をお伺いします。	C	学校給食については、秦野市食育推進計画において取組を進めているところです。関連計画との連携・協働を図り取組を推進します。
18	その他	-	たばこ祭りの名称と健康のイメージが一致していない。	D	より一層、健康づくりに取り組んでまいります。
19	その他	-	医療費負担が少なく、しかも健康寿命が延びていく、好事例を参考にした科学的な分析による取り組みは可能だと考える。どのような地域総ぐるみ運動をしなければならないのか。単に好事例を真似るのではなく、本市独自で科学的に導き出された計画、どのようなPDCAの取り組みができるかを検討すべきと考えるがどうか。	A	本計画では、本市の健康に関する現状分析や必要な取組を提示し、PDCAサイクルに沿った事業実施を行います。御意見のように、好事例に学び、本市に必要な施策を展開できるよう、引き続き取り組みます。
20	その他	-	ミネラルの重要性について ホルモンや神経伝達物質を作る為に必要な必須ミネラルの重要性に注目されたい。市民への啓蒙活動や摂取の仕方の指導を行う事は是非とも取り組みして頂きたい価値のある事と考えます。	B	野菜類を多く含むバランスの良い食事を食べることでミネラルの摂取が可能ですので、ひきつづき、主食・主菜・副菜をそろえるなど栄養バランスの整う工夫について啓発してまいります。